

第1学年国語科学習指導案

平成22年6月21日(月) 5校時
男子11名 女子13名 計24名
指導者 新宅 まき

1 教材名

「いろいろなくちばし」

2 教材について

(1) 教材の位置とねらい

子どもたちはこれまでに声に出して読むことを楽しみながら、発音や発声について学んだり、正しい筆順で平仮名を書いたりすることを学習してきている。また、主語・述語・修飾語の整った文、及び会話文の出してくる童話を通し、登場人物の気持ち、場面の様子などを押さえながら粗筋をとらえることや、挿絵から想像を広げながら読むことの楽しさを味わう態度も身につけてきている。これらを通して、絵を見ながら主語と述語の文を考え、文作りやお話作りを楽しむことや、他のお話を声に出して読むこと、平仮名を読んだり書いたりすることを楽しみたいという願いをもっている。

そこで、本教材では、写真を手掛かりにして、書かれていることの大体をつかむことや、生き物への関心、形態と生活との関係について想像を広げながら読むことを通じて、国語学習への興味・関心を高めたいと考え、「いろいろなくちばし」を設定した。

「いろいろなくちばし」は、入門期の説明的文章として初めての第一教材である。題名「いろいろな」に対応するように、最初に5種類の鳥のくちばしの写真を提示し、興味をもたせるように構成を工夫している。本教材の特徴は、鳥のくちばしの形を見たり、その特長からどんな鳥であるかを知ったりするのではなく、くちばしの働きを説明しているところである。鳥について知っているかを問うものではないため、だれでも考えることができるので、興味や好奇心をもたせることができる。

また、本教材は、左ページの文と絵で問いかけをし、ページをめくって右ページで答えながら説明するという構成が三回繰り返される。そのため、児童はなぞ解きのように興味をもって読み進めることができる。基本文型を繰り返し読む過程で、文型に慣れ、一年生なりの論理的思考力を養いたい。写真と文章で構成された本教材での学習を通じて、次のような効果が期待できる。

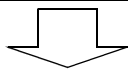
- 説明的文章を読んで情報を読み取る楽しさを体験する。
- 画像をよく見て情報を読み取ったり、想像を広げたりする力を伸ばす。
- 語や文としてのまとまりや内容、響きなどに気をつけて音読し、内容の大体を理解する力を伸ばす。

説明的文章を読み、物事を新しく知ったり、いろいろな本を読みたくなったりするような雰囲気を作り、読むことの楽しさを見つけられるように配慮したい。

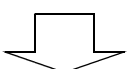
ここでの学習は、説明の順序や内容を考えながら読むこと、問いかけ・説明の語や文のまとまりを考えながら声に出して読むこと、さらに、文の主語・述語のつながりを確かめながら読むことなどの力を身につけさせることができる学習活動である。

(2) 単元の系統

「いろいろなくちばし」
・ 説明の正確な読み取り
・ 説明文の基本的な文型



「じどう車くらべ」
・ 話題・問題提示に対する答え
・ 仕事とそのため仕組みの説明
(2つの要素で構成)



「どうぶつの赤ちゃん」
・ 対比の視点を明確にした読み取り
・ 叙述に即して正確に読み取る

本教材は、「じどう車くらべ」へとつながる説明的文章の第一教材である。段落の始めが一字下がっている形式も最初である。1年生の説明的文章では、説明されている事柄を、正しく読み取る学習が中心になる。本教材では、問いと答えという構成と「…です。」「…ます。」という文末表現に慣れるよう工夫している。

「じどう車くらべ」では、話題・問題提示に対する答えと説明の部分をさらに進め、説明が、仕事とそのため仕組みの2つの要素で構成されるようになっていく。

さらに、下巻の「どうぶつの赤ちゃん」は、「じどう車くらべ」同様、「しごと」と「つくり」など読みのねらいを明確にして読む学習活動である。問題提起のあと、答えが説明されるという共通した構造の文章内容の大体を読むことをねらいとしている。

(3) 児童の実態

「話すこと・聞くこと」

- ・ 体験したことや身近におきたことなどを話すことは大好きだが、順序よく話せる児童は少ない。
- ・ 話を最後まで聞くなど、聞く姿勢を身につけさせる必要がある児童もいる。

「書くこと」

- ・ ひらがなについては、個人差がとても大きく、読むことはできても書くことを苦手としている児童もいる。ひらがなを2文字学習した頃の実態は次の通りである。(絵をみて、始めの一文字をひらがなで書く問題51問中)

文字数	5文字	4文字	3文字	2文字	1文字	0文字	
人数(人)	6	9	1	3	2	2	1

- ・ 生活科のあさがお観察カードなどの記録から、20名は一言でも自分の思いや気づきを文に書こうと意欲的であったり書きあげることができていたりするが、その他の4名についてはそばについての声かけや個別指導が必要な段階である。また、促音・拗音の表記については、まだ学習の途中であることもあり、正確ではないことが多い。

「読むこと」

- ・ 読み聞かせが大好きで、絵本や図鑑に興味を示す児童が多い。
- ・ ひらがなを読む速さについては個人差がとても大きい。読むことはできても書くことを苦手としている児童もいる。
- ・ 3文字、濁音のある3文字、促音を含む3文字の読みについての実態は、次の通りである。(みかん・ぼうし・しっぽ)

文字数	3問とも正しく読めた	2問正しく読めた	1問正しく読めた	0問
人数(人)	21人	1人	1人	0人

授業中の発表に対する意欲が高く、手の挙げ方や返事の仕方、発表の仕方など、基本的な学習のしつけについては、徐々に定着が見られる。友達の見解と自分の考えを比べながら聞き、「同じです。」や「ほかにもあります。」など一言添えて手を挙げる姿も見られるようになってきた。

5月にほぼすべてのひらがなの読みと表記の学習が完了し、正しい筆順で丁寧に書く練習に進んで取り組んでいる。絵本を中心に、読書への関心も高い。また、視写や学習中のノートへの書き取りなどにも、多くの児童は楽しく取り組むことができるが、正確さや丁寧さ、書くスピードには個人差があり、継続して指導を行っていく必要がある。家庭での音読へも意欲的である。これらの経験を支えに、さらに「わかる」喜びや達成感を味わうことができるよう個に応じた指導を工夫し、正しく読む力を育てたい。

また、「くちばし」についての知識としては、22名は鳥類の口という認識をもっていたが、2名は鳥類に加え先がとがっているからという理由で魚類の口もくちばしだと考えていた。本単元に入る際、確認する場を設けたい。

(4) 指導上の留意点

以上のような実態を踏まえ、本単元ではそれぞれ以下のことに留意して指導する。

- つかむ・みとおす段階では、知っている鳥や身近にいる鳥について話し合う。鳥のくちばしとその働きについて考え、学習計画を立てる。また、学習を進めるうちに分からなかったことがだんだん分かってくるようになる楽しさを感じさせるために、「どうなっていたのかな」という思いを抱かせておきたい。

本教材は、説明的文章の第一教材である。1年生の説明的文章では、説明されている事柄を正しく読み取る学習が中心になる。本教材では、問いと答えという構成と、「…です。」「…ます。」という文末表現に慣れさせることができる。段落の初めが一字下がっている形式も最初である。これらの要素に着目させながら、写真を手がかりにして書かれていることの大体をつかむことができるようにしたい。

- 調べる・深める段階では、音読の工夫を行い、全文を読めるようにする。1年生が一斉に音読すると、不自然にスピードが遅くなったり、抑揚がなくなったりしがちであるので、教師がリズムを取る・句読点まで一気に読ませる、文末を意識してリードするなどして、自然な速さで読む習慣をつけさせたい。

また、十分音読した後で、本文の構成が問いのページと答えのページになっていることに気づかせたい。問題の文型と答えの文型に注目して読み取ることができるよう音読だけでなく、視写の活動も行う。

さらに、1年生にとってあまり使いなれない言葉については、絵・写真と照応させることでどのような様子を表す言葉であるかを理解させたい。その上で、文ごとに内容を捉えさせ、文や文章を読んで、何が書かれているかを読み取る学習のスタートを丁寧に進めたい。

- ふりかえる・いかす段階では、これまでの学習をもとに、くちばしの形の違いに気付かせ、そのくちばしでどんなことをするのか考えがもてるように支援する。そして、くちばしの形とえさの関係についてまとめ、好きな鳥について教科書と同じように問いと答えの文章を書き続きを作る。その際、問いの分と答えの文がしっかり書けることをねらいとし、自由に書かせるが、なかなか考えられない児童には、穴埋め式のワークシートを用意して書かせてから清書させるようにする。
- 児童の興味・関心を高める工夫として、ICT 機器を随所で活用し、学習への意欲を向上させ継続できるようにする。

3 目標

- (1) 生き物への関心をもって、教材文の述べ方の順序を調べたり、鳥のくちばしの形と使い方に気づいたりしながら、国語学習への興味・関心を高めることができる。【関心・意欲・態度】
- (2) 説明的文章を読むことに慣れ、順序や内容を考えながら読むことができる。「問い」「答え」「説明」の文を理解し、まとまりを考えながら声に出して読むことができる。【読む】
- (3) 教科書の文型をもとに、好きな鳥について続きを作ることができる。【書く】
- (4) 文の主語・述語のつながりを確かめながら読むことができる。【言語】

4 指導・評価計画（「いろいろなくちばし」全8時間）

過程	学習課題・主な学習活動	※・・・中心となる評価の内容
つかむ・見通す②	<p>1 単元を概観し、学習のめあてを話し合い、学習計画を立てる。</p> <p>(1) 知っている鳥について発表し、好きな鳥を絵にかく。</p> <p>(2) 全文を読み、くちばしの形に違いがあることや繰り返される文型について知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>えを見ながら、文章に書いてあることを読み取ろう。</p> <p>鳥のくちばしの働きについて知ろう。</p> </div> <p>※ 興味をもって読み、鳥について知っていることや挿絵を見て気づいたことを発表している。【関心・意欲・態度…発言・観察】</p>	
調べる・深める③	<p>・ 絵・写真と文を照応させながら、きつつきのくちばしの特徴を理解する。</p> <p>・ 答えの部分を視写する。</p> <p>・ 写真と文を照応させ、きつつきのくちばしの働きとえさのつながりを理解する。</p> <p>(2) おうむのくちばしについて読みとる。 ※本時 (きつつきと同様に調べる)</p> <p>(3) はちどりのくちばしについて読み取る。 (きつつきと同様に調べる)</p> <p>※ それぞれのくちばしの特徴やえさとの関係を理解している。【読むイ…発言・ワークシート】</p> <p>※ ひらがなを正しく読んだり書いたりしている。【書くイー(ア)…観察・ワークシート】</p>	
本時4/8	<p>3 くちばしの形の違いを見つける。</p>	
振り返る・いかす③	<p>4 教科書 P 51 の鳥とえさの関係についてまとめ、5種類のどれかを選び、教科書の続き(クイズカード)を作る。</p> <p>(1) くちばしとえさのかんけいをまとめる。</p> <p>(2) 好きな鳥を選び、問いの文と答えの文を書く。</p> <p>(3) 作ったクイズカードを発表する。</p> <p>絵本や図鑑の紹介を聞き、読みたい本を考えて読む。</p> <p>※ 教材文を参考にして、好きな鳥のくちばしとえさについて文章にまとめている。【書く(イ)…カード】</p>	

5 本時（4／8）



(1) 本時の目標




- ・ 繰り返される文型に慣れ、写真と文を照応させながら、おうむのくちばしの働きとえさとのつながりについて読み取ることができる。

(2) 本時の指導にあたって

- ・ 「つかむ・見通す」段階では、前時の学習を振り返り、きつつきのくちばしの形がえさと関係していることを押さえる。その後、学習計画をもとに本時の学習のめあてと学習の進め方を確かめる。
- ・ 「調べる・深める」段階では、前時同様、「おうむ」についての問いと答えの文をそれぞれ音読したあと視写する活動を通して、おうむのくちばしはどんな形か、なぜ、そんな形になっているのかなどに気づくことができるようにする。その際、大事な語句を読み取り、抜き出して書き込むことができるようなワークシートを準備しておく。ワークシートには、各自で視写させるが、一人で書くことが難しい児童には個別に形が分かる言葉などに印を付けるなどしたあと視写させる。視写ができた児童には、教科書のどこに書いてあったか、言葉をさがし、線を引かせる。
- ・ 「ふり返る・いかす」の段階では、本時で調べてまとめたことと、前時のまとめを比べ、くちばしの形の違いはえさと関係があることに目を向けさせる。また、実際にオウムがクルミをくちばしで割り中の実を食べる様子の動画を見せることで、読み取った内容を実感し、くちばしとエサの関係を想像しながら音読できるようにする。
- ・ 重点評価項目は「読むこと」なので、「どのようなことを読み取ることができたか」について自己を振り返らせる。また、ワークシートに、本時の理解がどうであったかをチェックできる工夫をするなどして自己評価も取り入れたい。また、わかったことや感想を発表する活動で、一人一人のがんばりを賞賛したり、もう少しだった部分は次回がんばれるよう励まし、これからの学習への意欲を高めていくことができるようにする。

(3) 実 際

過程	主 な 学 習 活 動	簡	教 師 の 支 援 と 評 価 ○支援 準) 教具準備 ※評価
つかむ・見通す	<p>1 前時の学習を振り返り、学習計画をもとに、本時の学習内容を確認し、本時の学習のめあてを話し合う。</p> <div data-bbox="308 1417 783 1514" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>この(絵) くちばしの ひみつをしろ。</p> </div> <p>2 学習の進め方を確かめる</p> <p>① しらべることを たしかめる ② よくよんで しらべる ③ わかったことを たしかめる ④ ふりかえる</p>	8	<p>○ 前時の学習をふりかえり、きつつきのくちばしの形とその理由を確認させる。 準) 前時のまとめ</p> <p>○ めあてには、「おうむ」のくちばしの絵を提示し、きつつきのくちばしとのちがいに気付かせる。 準) オウムのくちばしの絵 </p> <p>○ 学習の進め方について確認する際、流れを提示し、見通すことができるようにする。</p> <p>○ ワークシートと板書が一致するよう工夫する。 準) ワークシート 書画カメラ・テレビ・絵</p>
調べる・深	<p>3 おうむのくちばしについて読み取る。 (1) 調べる観点を確認する。</p> <div data-bbox="292 1899 783 2022" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>どんなかたちでなんという とりのくちばしかな</p>  <p>なにをたべるのかな。</p> </div>		<p>○ おうむについての文章を音読した後、問いの文には赤鉛筆、答えの部分には鉛筆で文の右側にサイドラインを引かせる。</p> <p>○ 絵を見て分かることを話し合い、キーワードを板書する。</p> <p>○ おうむについての問いとなる文章を読</p>

<p>める</p>	<p>(2) 全体を音読したあと、問い部分を読み、ワークシートに視写する。</p> <p>(3) 答えのページを視写し、くちばしの形と働きのつながりを理解する。</p>  <p>(4) 気がついたことや感想を全体で話し合い、まとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>おうむは、ふとくてまがつたくちばしで、かたいたねのからをわり、なかのみをたべる。</p> </div> <p>4 分かったことを確かめながら、音読する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 問いの部分と答えの部分を分担して読む。 	<p>30</p> <p>んだ後、ワークシートに視写させる。その後、同様に答えになっている部分の音読と視写をさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 視写できていない児童には、個別にくちばしの形がわかる部分や鳥の名前・食べ物などに印（○など）を付けさせた上で視写させる。 ○ 一人で視写ができた児童には、書き込んだ言葉がどこにあったか、教科書を再度読み、その部分に線を引かせておく。 ○ 視写を通して、おうむのくちばしの形の特徴と、その形にどんなよさがあるのかについて児童自身が気づけるようにする。 <p>※ 調べる観点にそっておうむのくちばしについて読み取ることができたか。</p> <p>【読むイ…ワークシート】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ オウムがくるみを割って実を食べる映像を提示し、読み取った内容について実感できるようにする。また、くちばしの形の違いには、えさの関係していることに気づくことができるようにする。 <p>準) パソコン・テレビ・書画カメラ くるみ</p>
<p>振り返り ・いかす</p>	<p>5 本時の学習について振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> くちばしのかたちはえさとかんけいがあるんだね。 ワークシートに書いていねいに書くことができたよ。  <p>6 次時の学習について確認する。</p>	<p>7</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本時の学習で、ひみつを読み取ることができたかについて振り返らせる。また、分かったことや感想などを話し合う中、それぞれの学習に対する取り組みの意欲や頑張りを称賛し、これからの学習への意欲を高めることができるようにする。

(4) 板書計画

<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>おうむは、ふとくてまがつたくちばしで、かたいたねのからをわり、なかのみをたべる。</p> </div>	<p>まとめ</p> <p>◇ たべもの たねのなかのみ</p>	<p>◇ つかいかた かたいたねのからをわる</p> <p>絵</p>	<p>こたえ</p> <p>◇ これは、△△の○○です。</p> <p>◇ とりのなまえ おうむ</p>	<p>もんだい</p> <p>◇ かたち ふと まがつている</p> <p>絵</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>このくちばしのひみつをしろう。</p> </div>	<p>6</p> <p>すすめかた</p> <p>④③②①</p> <p>ふわりから りかよる かつたんで えたことを をしをら たべたし かめる かめる</p> <p>めあて P 4 7</p>
---	--------------------------------------	---	--	--	--

【くぐく】かんのれんしゅうタイム】

すすめかた

- 一 かんじスキルの口ばんをあけましょう。
- 二 ① ゆびで なぞりましょう。さんはい
② つかいかた
③ かきじゅん さんはい
④ 三かいなぞって れんしゅうしましょう。

はやくすんだときは、ならったかんのぶくしゅうを
しめしょう。

【1ねんせい】

☆ ことばの いみを わかりやすくかきましょう。

「にだい」・・・・・・・・

「つりあげる」・・・

「車たい」・・・・・・・・

☆ 「～たり～たり」をつかって、みじかい文をつくりましょう。

☆ どんな じどうしゃを していますか。いくつでも かきましょう。

【2年生】

☆ していますか？していたら○をかきましょう。

からす貝		まぐろ		ミサイル		ゼリー	
くらげ		ブルドーザー		いせえび		ドロップ	
こんにゃく		わかめ		うなぎ		やしの木	
			いそぎんちゃく		もち場		

☆ つぎのことばを つかって みじかい 文を作りましょう。

「